

実施日：令和6年10月12日（土） 天候：晴れ
参加者：48名 / お申込み人数：56名
行程：約5.5km（午前中 約3.0km、午後 約2.5km）
講師：相原嘉之氏（奈良大学 文学部教授）



飛鳥周遊ウォーク「飛鳥の宮殿を巡る」

（午前の部）

恒例の秋の奈良大学-古都飛鳥保存財団連携イベントです。今年も奈良大学の相原先生の軽妙なトークで、たつぷりと明日香村の中にある遺跡巡りの散策を堪能しました。

本当によい天気です。10月も半ば近くですが、汗ばむ陽気です。

豊浦駐車場で集合の後、豊浦駐車場から周辺を眺めました。畝傍山、耳成山、香久山が一望できます。東の方に雷丘があり、手前の木の生えた土壇辺りが庭園跡や建物跡が検出された古宮遺跡です。豊浦駐車場から推古天皇の「豊浦宮跡」を訪ねました。西暦592年にこの豊浦宮で推古天皇が即位されました。歩く都合で時代順には訪れることはできませんが・・・次に訪れたのは「水落遺跡」＝漏刻（水時計）の跡です。飛鳥の地で中大兄皇子の時代に初めて漏刻が設営されたと言われます。正確な「時」を刻むことで為政者として「時」を支配し、人民の勤労や生活習慣を支配したのです。漏刻はその後、中大兄皇子が天智天皇として即位された大津宮に移築されていきます。「水落遺跡」のすぐ北側辺りの「石神遺跡」に行きました。斉明天皇時代に地方から都に働きに来た人々の饗宴施設、または海外から訪れた人への迎賓施設とも言われています。近くの田から噴水機構の付いた石造物が出土しています。水落遺跡と石神遺跡の間の東西の道が本来の山田道にあたります。古い山田道の南側が狭義の「飛鳥」の地で、山田道の北側が「小墾田」の地。さて、推古天皇の「小墾田宮」はいったいどこにあったのでしょうか？古宮遺跡ではなく、雷丘の東側・・・雷東方遺跡が推定地とされていましたが、雷東方遺跡から出てきたのは奈良時代の「小治田」の墨書土器で時代が異なります。この本来の古い山田道の北側にあたる石神東地区に推古時代の「小墾田宮」があったのではとのお話でした。まだまだ謎がいっぱいの飛鳥です。石神遺跡から南に歩き、飛鳥寺の西門辺りに着きました。往時の飛鳥寺は一塔三金堂の大伽藍を誇り、甘樫丘を眺める西側に大きな西門がありました。その西側の広場に大きな榎の木がランドマークとして立っていたようです。現在、近くに「入鹿の首塚」と呼ばれる後世（鎌倉時代以降）に建てられた五輪塔があります。この榎の木の広場で飛鳥時代のいろいろなドラマが展開されました。中大兄皇子と鎌足の出会いのお話もその一つでした。



その後、万葉文化館にある飛鳥池工房遺跡を訪れました。ガラスなどの玉類や金属類、富本銭や天皇と記載された木簡など次々と発見された工房跡です。その後に近くの亀形石造物、酒船石からなる酒船石遺跡を訪れました。飛鳥を代表する斉明天皇時代の有名な石造物の遺跡です。酒船石遺跡を見た後に飛鳥京苑池まで歩き、飛鳥京苑池の休憩所で昼食休憩をしました。

（午後の部）

飛鳥京苑池から午後の部はスタートです。現在の苑池跡は池の面影はなく野原が広がっているだけですが、かつて出水の酒船石が近くで発見され、飛鳥京苑池の流水施設とつながっていたようです。飛鳥京苑池と午前中に訪れた酒船石遺跡は類似した水流施設が備えられていた遺跡のようです。飛鳥京苑池から東の方に歩いてすぐに飛鳥宮

跡がありました。かつて史跡名称を「伝飛鳥板葺宮跡」とされていましたが、「飛鳥岡本宮」「飛鳥板葺宮」「後飛鳥岡本宮」「飛鳥浄御原宮」の4つの宮が、同じこの地に営まれた痕跡が次々に検出されたために「飛鳥宮跡」と名称変更されています。最下層（最古）に関しては、新しいⅡ期の石溝やⅢ期の建物遺構を斜めに横切る堀跡が検出されており、最も古い「飛鳥岡本宮」は東西南北には配置されていない様子が見受けられています。数代の天皇が長きに渡ってこの地で政を行っていたのです。南に歩いて行くと大極殿跡ではないかと言われる大きな建物跡のエビノコ郭があります。エビノコ郭を見学した後に、国営公園祝戸地区にある飛鳥稲淵宮殿跡まで歩きました。ここは難波に孝徳天皇を置き去り飛鳥に戻ってきたときに、一時的に利用した「飛鳥河邊行宮＝飛鳥川辺行宮」跡といわれています。この「飛鳥川辺行宮」は厳密には「飛鳥」の地ではないのに何故か「飛鳥」が冠されています。ただ「飛鳥-川辺行宮」と区切るのではなく「飛鳥川-辺行宮」と区切り、近くを流れる飛鳥川の辺（ほとり）にある宮殿と読むこともできるとの説明がありました。ただし、斉明朝に飛鳥川原宮に遷るのですが、この飛鳥川原宮も厳密な「飛鳥」内ではなく飛鳥を冠していることもあり、何とも言いきれない状況とか。飛鳥稲淵宮殿跡の次に「島庄遺跡（嶋宮）」まで歩きました。有名な石舞台を横目を通り過ぎ無視すると言う贅沢な行程です。島庄遺跡では、現在の地形に痕跡のあることを現場で見て、地形や古くからの地名に古代の痕跡が残っている事を改めて教えてもらいました。飛鳥の宮殿跡・・・いい旅でした。相原先生ありがとうございました。ご参加の皆様お疲れ様でした。また来年も別のテーマで飛鳥を散策いたします。よろしくお願ひします。

